キャリア教育の一環として
体験型現場学習会の活用を！

中学生により多くの職業に興味を持ち、社会体験をさせたいとお考えの「先生の皆様」へ

1. 体験型現場学習会とは？

これまでのような工事現場で説明を見て聞くだけでなく、生徒が直接体験（触れる、驚く、造る、楽しむ）する学習会。

2. 体験メニュー

建設現場で工事完成までに取り組む仕事（工種）の中で、生徒が体験（触れる、驚く、造る、楽しむ）できるものを選んで、実施します。

コンクリート製作体験

測量体験

建設機械運転体験

コンクリート打設体験

簡易舗装体験

張芝体験

舗装修繕体験

3. 参加生徒の感想

■建設業への興味

・力仕事だけじゃなく女性でもできそうな事がたくさんあって魅力的でした。
・建設業のすごさやかっこよさもわかったので、とても面白かったです。
・大変だけど、終わった後の達成感があり、難しいけど、いい仕事だなあと思いました。
・自分も大人になったらこういう仕事につきたいです。
・建設業のイメージが変わり、人の役にたっていることがわかりました。
・建設業という職業は私たちが生活していく上でとても大切な職業だということがわかりました。

■新たな発見、感動

・初めての重機はとても楽しく面白かったです。
・コンクリートはいつもツルツルしているイメージだったのですが、石がゴロゴロ入ってて、びっくりしました。
・女子作業員もいて、とてもカッコイイと思いました。
・普段、何気なく通っている道も時間をかけて、苦労して作っているんだなあと感じました。
・トラスがあるのとないのでは、橋の頑丈さがちがうことに驚きました。
・災害が起きた際に、いち早く駆けつけるのは、地域建設業の人たちだと聞き、驚きました。
・雪よせはみなさんががんばっているのだと考えながら学校まで通いたいと思います。

東北建設業協会連合会、東北建設業青年会、国土交通省東北地方整備局
建設現場等から生まれる情報資産の効果的な社会への還元に関する勉強会

申し込み等の詳細は裏面をお読みください。

未来を担う子供たちに楽しく、体験学習を！

「体験型現場学習会」実施要領

1．目　的

キャリア教育の一環として、「体験型現場学習会」を通して、好奇心の旺盛な中学生に建設業に興味を持っていただく。建設業の「職場体験学習」を希望する生徒増加への動機付けとする。

2．実施内容

これまでのような工事現場で説明を見て聞くだけでなく、生徒の皆さんが体験（触れる、驚く、造る、楽しむ）する学習会を実施する。

1）実施主体　：東北建設業協会連合会、東北建設業青年会、国土交通省東北地方整備局
建設業の魅力を発信するための戦略的広報勉強会　※1

2）実施場所
東北地方整備局工事現場及び管理施設、または中学校校内（グランド等）

3）生徒の人数
40名程度（調整可能です）

4）実施時期
8月～11月の気候のいい時期。（調整可能です）

5）体験時間
2～4時間程度。（移動も含む。調整可能です）

6）体験メニュー
建設現場で工事完成までに取り組む仕事（工種）の中で、中学生が体験（触れる、驚く、造る、楽しむ）できるものを選定する。
（例）コンクリート製作体験、測量体験、張芝体験、簡易舗装体験、建設機械運転体験　など

7）その他
生徒の保険については、学校側でご準備をお願いいたします。
工事現場等への移動手段（バス等）が必要な場合は、こちらで準備いたします。

8）申込みについて
申込みいただきました中学校と打合せを行いまして、開催を調整させて頂きます。
そのため、学校数、実施時期、場所、生徒数等の調整結果により、開催できない場合も考えられますので、あらかじめご了承ください。

※1　：東北建設業協会連合会、（一社）日本建設業連合会東北支部、（一社）日本埋立浚渫協会東北支部、(一社）日本道路建設業協会東北支部、(一社）日本橋梁建設協会東北事務所、(一社）ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ建設業協会東北支部、（一社）東北測量設計協会、（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局

東北建設業協会連合会、東北建設業青年会、国土交通省東北地方整備局
建設現場等から生まれる情報資産の効果的な社会への還元に関する勉強会

3．申し込みについて

申し込みは以下に記入して、FAXを（　017－722－2577　）まで送付ください。

【必須】学校名	
【必須】問合せ先（担当者名）	
【必須】　電　　話	
Ｆ　Ａ　Ｘ	
メールアドレス	

メールでのお申し込みは　→　aomori@thr.mlit.go.jp
（上記必要事項を記入）